

リニア中央新幹線事業に係る関係市町村長と JR 東海との意見交換会概要

建設部リニア整備推進局

1 日 時 令和3年12月22日（水）15：00～17：15

2 場 所 飯田合同庁舎 3階講堂

3 出席者

- <市町村長等> 飯田市、下伊那郡 13 町村、中川村、南木曾町、南信州広域連合
- <長野県> 建設部リニア整備推進局長、南信州地域振興局長、飯田建設事務所長
- <JR 東海> 宇野 護副社長 他6名
- <鉄道・運輸機構> 関東甲信工事局次長

4 冒頭あいさつ

【リニア整備推進局長】

- ・10月に岐阜県瀬戸トンネル、11月に伊那山地トンネル坂島工区と、トンネル内での事故が連続して発生していることは大変重大な問題であり、極めて遺憾なことで受け止めている。坂島工区事故の十分な検証と検証結果の報告、他の工区も含めた再発防止策・安全対策の徹底、地域住民への丁寧な説明をお願いする。
- ・この意見交換会は、リニア開業を見据えて、懸案課題を早期に解決することや関係機関の連携を密にすることを目的として開催している。今回で7回目。
- ・県としては、JR東海と市町村の間に入り、調整役として課題解決に向け取り組んでいく。

【南信州広域連合長（飯田市長）】

- ・東京、名古屋、将来的には大阪を結ぶ東西軸としてのリニアと、東名高速道路に向かう南北軸としての三遠南信自動車道の整備が同時期に進んでおり、その建設効果に対して地元の期待は高まっている。
- ・期待の一方で、トンネル工事の事故、発生土置き場の盛土、開業時期など、心配なこともいくつかある。
- ・この意見交換会では、これまでも様々な課題提起をし、解決された課題がある一方、まだ未解決のものもあると認識。
- ・本日は、各市町村長からJR東海の皆様に直接意見を申しあげる貴重な機会。それぞれの市町村の切実な課題をしっかりと受け止めていただき、解決に向かうようお願いする。

【JR東海副社長】

- ・岐阜県の瀬戸トンネル、伊那山地トンネル坂島工区の肌落ちによる労働災害について、ご心配をおかけした。これらの労働災害について、原因を究明し、再発防止策を徹底していく。
- ・当社として、今回の一連の労働災害を重く受け止め、再発防止に一層、しっかりと取り組んでい

くために、中央新幹線安全推進協議会を設置した。今後、同協議会において議論を深め、各社共通の認識に立ち、より強力で労働災害防止に取り組んでいく。

- ・静岡工区について、国の有識者会議において、「大井川水資源問題に関する中間報告」がまとめられた。この報告も踏まえ、大井川流域の方々の懸念を解消すべく、引き続き、真摯に対応していく。
- ・長野県内の工事については、南アルプストンネル長野工区において小渋川・釜沢非常口間の先進坑が貫通するなど、着実に工事が進んでいる。
- ・発生土置き場については、現時点で14箇所が置き場として決定しており、それ以外にも約30箇所に関係機関や地元、地権者と調整中。
- ・要対策土について、公共事業などでの活用も含め、最終的な活用先の斡旋をお願いしたい。
- ・「工事の安全」、「環境の保全」、「地域との連携」を重視し、事業を進めていくので、皆様には引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。

5 県内工事の状況説明

○JR東海から各工区の状況等を説明。

6 意見交換内容（発言要旨）

■トンネル工事の事故について

【市町村】

○続けざまにトンネル工事の事故が起こったことで、住民の皆さんは不安を覚えている。（飯田市）

○坂島工区の事故の際には、中津川市瀬戸トンネルの事故から間をおかない時期に発生したにも関わらず事故直後の連絡が十分でなかった点は大変残念であった。見直された連絡体制の運用が適切に行われることを切に希望する。（飯田市）

○工事が安全に行われることは、このプロジェクト自体に対する住民の皆さんの信頼に関わること。しっかりと取り組んでほしい。（飯田市）

○どんなに注意しても事故は起きる。工事用車両の通行により住民の皆様が巻き込まれる事故も想定される。見直された連絡体制により、上手にやっていただきたい。（豊丘村）

○今後、坂島工区のみならず瀬戸トンネルの事故原因の説明もお願いしたい。（大鹿村）

【JR東海】

- ・坂島工区の事故では、作業員は厚生労働省の肌落ち災害防止対策に係るガイドラインを概ね守っていたが、施工管理において、浮石落としや吹付コンクリートの管理、削孔水の管理に課題があるとみて、原因究明と対策の検討を進めており、有識者から意見を伺っている。今後、県や関係自治体の方々に説明の上、工事を再開していく。
- ・瀬戸トンネルの事故では、ガイドラインの徹底が不十分であった可能性があり、坂島工区とは

発生した状況が異なる。

- 今回の事故を受け、中央新幹線安全推進協議会を設置し、本社レベルと都県レベルで開催している。今後も定期的開催し、安全対策の水平展開を行っていきたい。
- 今回、事象に応じた連絡経路を定めるとともに、ホットラインを設定するなど、改めて連絡体制を整備した。これに基づいて、迅速にお知らせし、情報を共有していく。
- どうしても切羽に近づかなければならない作業もあるので、作業員を守るという観点から、施工会社と施工計画の段階から議論しながら進めていく。

■懸案事項への対応

●発生土

【市町村】

- 7月に発生した静岡県熱海市の土砂災害を受けて、住民の皆様から発生土置き場における盛土への心配の声が寄せられている。下流域を含めた住民の皆様は、安全、安心を求めている。丁寧な地元説明をお願いしたい。（飯田市）
- 熱海市の土砂災害以降、住民の皆様から心配の声が寄せられている。早期決定に至るよう、十分な情報提供をお願いしたい。（阿智村）
- 今後発生土置き場の具体的な手続きが始まるにあたり、情報共有を密にして計画通り進むようお願いしたい。（下條村）
- 熱海市の土砂災害以降、地元で安全性について心配する動きがある。盛土完了後の経過観察や維持管理をやっていただくようお願いしたい。（下條村）
- 発生土の運搬先が明確に決まっていないままトンネル工事が進むことについて、不安を持つ住民もいる。発生土置き場の早期確定と早期の情報提供をお願いしたい。（大鹿村）
- 要対策土について、無害化という方法は考えられないのか。（大鹿村）
- 発生土置き場の計画について、県や国など、関係機関としっかり調整をしてほしい。（中川村）
- 半の沢に発生土を運搬することで、渡場の交差点を通行する車両が減る。着実に進めていただきたい。（中川村）
- 下流域を含めた住民の皆様が納得できる計画でなければ進まない。地元の声を基に計画を策定していただきたい。また、このことについては、特に幹部の皆様から担当者へ言っていただきたい。（南木曾町）

【JR東海】

- 発生土に関しては、県や市町村から様々な形で活用先の候補地をいただき、大変感謝している。
- 発生土置き場については、現時点で14箇所が置き場として決定しており、それ以外にも約30箇所に関係機関や地元、地権者と調整中。
- 要対策土については、封じ込めを基本に検討している。公共事業等でご活用いただけるところ

があれば、最終的な活用先の斡旋をお願いしたい。

- 地域の方々には、過去の三六災害や、本年7月の熱海市の土砂災害によるご不安があることを十分に認識しており、地域の方々の理解を得られるよう、丁寧に説明していく。
- 盛土は、土木構造物として昔から使用されてきた豊富な実績のある構造であり、盛土構造物自体が危険ということではなく、特に排水対策等の設備がしっかりと施されていることが重要だと認識している。
- 排水対策を含めた構造設計、施工について万全を期すとともに、造成後の管理についても、地権者や地域の方々の意向をしっかりと聞きし、場所によっては当社が管理することも含めて調整し、ご安心いただけるよう対応していく。

●工事車両の運行及び安全対策

【市町村】

- 住民の皆様は、リニア工事が本格化し、土砂運搬が盛んになることによる生活環境への影響を心配している。リニア事業に対する理解を得るためにも、従来にも増してきめ細かな対応をお願いする。（飯田市）
- 工事に対して、地元から様々な要望が出ている。関係地区と確認書を締結し、その内容を着実に履行することをお願いしたい。特に工事車両の通行に関しては住民の皆様への影響が大きいので、交通法規の遵守はもちろんのこと、歩行者、一般車の通行に極力影響が出ないように対応をお願いしたい。（飯田市）
- 主に観光シーズンにおいて、土曜日や祝日に工事用車両を運休していただきたい。（松川町）
- 工事が本格化するにあたり、工事用車両の通行や工事の概要など、住民の関心が高まる。通行台数の表示等対応を行っていただいているが、村との情報共有もしっかりさせていただき、住民負担低減のため、工事が早く終わるよう臨機応変に対応していただきたい。（喬木村）
- 松川インター大鹿線の拡幅工事完了について感謝申し上げます。一方で、当路線はまだ狭隘な部分があり、渋滞が発生している。対応について協議させていただきたい。（大鹿村）
- 観光業者等の皆さんから、発生土運搬車両の土日休工を要望されている。検討をお願いしたい。（大鹿村）
- 渡場の交差点での車両通行が本格化する前に、表層の補修を行っていただきたい。（中川村）
- 工事用車両の通行ルートである北林飯島線について、歩道の設置をお願いしたい。（中川村）
- 大鹿村長がお願いされた松川インター大鹿線への対応については、当村も同意。（中川村）

【JR東海】

- 工事用車両の通行に際しては、一般車両を優先し、交通法規の遵守、運行マナーなどに配慮するとともに、通行ルートを分散化するなど、できるだけ地元には負担がかからないように取り組んでいる。
- 地域の方々には、工事用車両の運行ルートや通行時間、通行量などの運行計画や安全対策の内容などをお示しし、ご意見を伺って丁寧に对应していく。

- 多くの市町村とは、工事用車両の運行に関する確認書を締結しており、確認書に基づき、工事による影響の軽減や、安全対策の徹底に努めていく。
- 大鹿村からの発生土運搬については、「リニア中央新幹線発生土運搬安全対策連絡協議会」の場などを通じて関係者と調整していく。
- 観光シーズンや地元の行事がある際の工事用車両の運行については、できる範囲でということにはなるが、対応できることはしていきたいと思うので、ご相談させていただきたい。

●環境保全対策

【市町村】

- 防音・防災フードの延長を当初の計画より延ばしていただいたことは感謝するが、騒音問題はまだ地元の皆様のご理解が得られていない状況。一層丁寧な説明をいただくとともに、より踏み込んだ個別対策など誠意を持った対応をお願いしたい。（飯田市）
- 防音・防災フードの延長及び防音壁のかさ上げについて感謝したい。また、これに伴う複数回の地元説明会や個別説明の対応についても併せて感謝申し上げる。（喬木村）
- 大気環境について、季節による状況の違いという面でも、引き続き観測をお願いしたい。（中川村）

【JR東海】

- 環境の保全は当然の話であり、特に生活環境という面で皆様にご心配をおかけしないよう、大気質や振動、騒音などへの配慮については、環境アセスの段階からしっかり取り組んできている。環境測定の内容や、結果の報告の仕方など、引き続き地元と相談した上で進めていく。
- 大鹿村から発生土を搬出する際に通行する中川村の渡場交差点や、松川町の七椏神社付近において、大気質、騒音、振動の測定を行ない、測定結果は地元の皆様に対して定期的に、季節変動なども踏まえたうえで、しっかりとご説明していく。
- 飯田市座光寺地区における環境対策工について、飯田市にお力添えをいただき、地域の方々のご理解を得られるよう、ご説明させていただいているところであり、引き続き、ご協力をお願いしたい。

●静岡工区及び開業時期について

【市町村】

- 静岡工区の問題について、早急に解決をしていただき、開業時期の見通しが立つようお願いしたい。（飯田市）
- ガイドウェイヤードの後利用を検討するにあたり、長野県内の工事がいつ終わるのか、非常に大きな関心を持っている。長野県内はいつまでに終わらせるという目標を教えてください。（喬木村）
- どういう形で静岡問題が解決するのか見えてこないのは、我々としても辛いところ。少しでも早

く解決いただくようお願いしたい。（豊丘村）

【JR東海】

- 国の有識者会議において、「大井川水資源問題に関する中間報告」が取りまとめられた。中間報告を踏まえて、トンネル工事に伴う水資源利用に関する懸念が払しょくされ、地域の方々の理解と協力が得られるよう真摯に対応していく。
- 2027年の開業は困難な状況であるが、早期の開業を目指すという考えに変わりはなく、長野県内の工事についても、引き続きペースを緩めることなく進めていく。

■関係機関との連携強化

●地元との連携強化、情報提供

【市町村】

- JR東海には、事業主体として県や関係市町村と益々の連携をとっていただき、きめ細やかな配慮と責任ある対応をとっていただくようお願いする。（飯田市）
- こまめな情報提供をお願いしたい。（阿智村）
- 工事が本格化するにあたり、阿智方面に現地事務所の設置をお願いしたい。（阿智村）
- 調整に関する職員についても、用地同様費用の負担をお願いしたい。（豊丘村）

【JR東海】

- 地元への対応について、誠意を持った丁寧な説明というのはもちろんのことであり、信頼関係が全ての原点であると考えている。
- 各地に現地事務所を設置することは難しいが、今後とも、地域の方々の意見を踏まえつつ、丁寧な対応ができるよう、体制の強化等に努めていく。

■その他

【市町村】

- 長野県駅（仮称）周辺にお住いの皆様は、景観や環境への配慮に関心が高い。長野県駅（仮称）の外観、デザイン、仕様などについて、地元と協議調整をお願いしたい。（飯田市）

【JR東海】

- 駅のデザインや仕様、高架下の活用などの要望については、構造や設備での考慮など、土木や建築の設計に影響してくるため、具体的なお考えがあれば早めに教えていただきたい。内容によってはご地元にご負担いただくこともある。

●意見交換会におけるJR東海からの回答を踏まえて

- 先日安全協会の方と話をした際、リニア関係車両が非常に安全運転をしており、国道でスピード

を出して走る車が減ったと喜んでいて、引き続き安全運転を心がけていただきたい。（高森町）

○要対策土の公共事業での活用とは、どのようなケースを想定されているか。（飯田市）

○要対策土を封じ込めた形で、その上に健全土を盛って、さらにその上を道路や広場、公共的な設備等として活用していただくことを想定している。（JR東海）

○長野県内の工事の完了目標について、もう少しお話をお聞きしたい。（リニア整備推進局）

○長野県内の工事については、当初の目標に向けて、引き続きペースを緩めることなく進めていく。（JR東海）

○村外工区で工事が遅れているという情報も耳にする。本当に当初の予定通りガイドウェイヤードの敷地をお返しただけか知りたく発言した。（喬木村）

○喬木村のガイドウェイヤードで後利用が検討されているということも意識しながら、全体が早く進むようにしていきたい。（JR東海）

○他県は順調に工事が進んでいるのか。（阿智村）

○沿線各地で工事は着実に進めている。様々な事情があり遅れているところもあるが、全体としてしっかり進んできている。（JR東海）